

一般社団法人 日本保健物理学会
第 38 回臨時理事会議事録

- 日 時 : 2024 年 4 月 19 日(金) 10:00~11:30
- 場 所 : オンライン会議 (Zoom)
- 出席者 : 杉浦紳之代表理事、佐々木道也理事、赤羽恵一理事、秋吉優史理事、伊藤照生理事、榎本敦理事、小野孝二理事、川浦稚代理事、細田正洋理事、松本真之介理事、向田直樹理事
石川徹夫監事、菅井研自監事
五十嵐悠参与
日本保健物理学会事務局 副島邦洋
- 資 料 : 資料 1 一般社団法人日本保健物理学会 2023 年度事業報告書 (案)
資料 2-1 定款・規程の改定
資料 2-2 一般社団法人日本保健物理学会定款改定案
資料 2-3 一般社団法人日本保健物理学会学会規程改定案
資料 2-4 一般社団法人日本保健物理学会選挙規程改定案
資料 2-5 一般社団法人日本保健物理学会選挙規則改定案
資料 3 原子力学会・保物学会等との従来の連携経緯の紹介 (CPD 覚書の再録等)
資料 4-1 放射性物質の処分における規制免除に係る人文・社会科学的視点からの考察に関する専門研究会
資料 4-2 非破壊検査分野等におけるエックス線作業における放射線安全教育に関する専門委員会
資料 4-3 受動形個人線量計の空港保安検査時の線量調査に関する検討委員会

理事総数 12 名中、11 名の理事が参加しており、定款第 37 条に定める定足数を満たしていた。また、監事 2 名、参与 1 名及び学会事務局が出席していた。

定款第 36 条に基づき、杉浦紳之会長が議長に当たった。

○ 2023 年度事業報告書

標記の議題について資料 1 に基づき議長から説明があり、原稿提出を担当理事に依頼した。

○ 定款・規程の改定

標記の議題について資料 2-1~資料 2-5 に基づき議長から改定の内容について説明があ

った。

学会規程については全会一致で当日付けでの改定を承認した。

選挙規定については検討を継続することとした。

○ 2023 年度学会賞について

標記の議題について佐々木副会長から 2023 年度学会賞の選考結果について報告があり、了承した。

○ 論文サポート事業の活用

標記の議題について細田正洋理事から論文サポート事業の活用について説明があり、事業の窓口は総務担当理事とすることとした。

○ 特別会員

標記の議題について、仕組みの運用と選考基準の検討を行うことでも了承した。

○ 臨時理事会の継続

標記の議題について小野孝二理事から医療被ばく国民線量評価委員会の継続について提案があり、全会一致で承認した。

○ 専門研究会の設置

標記の議題について榎本敦理事から 3 件の設置申し込みがあったとの報告があった。

放射性物質の処分における規制免除に係る人文・社会科学的視点からの考察に関する専門研究会については社会科学系のメンバーを追加すること、受動形個人線量計の空港保安検査時の線量調査に関する検討委員会については個人情報取り扱いに留意することを条件に 3 件の設置を承認した。

○ 代表理事及び執行理事の業務の執行状況の報告

標記の議題について杉浦紳之会長、佐々木道也副会長、赤羽恵一常務理事からそれぞれ業務の執行状況について報告があった。

○ その他

佐々木道也副会長から放射線関連量の課題に関する検討委員会委員について提案があり、全会一致で承認した。なお若手会員を追加するよう要請があった。

佐々木道也副会長から IRPA16 開催中に A0ARP 会合が行われるとの報告があった。

秋吉優史理事から日本放射線安全管理学会との合同大会の準備状況について報告があった。

以上をもって議案の審議を終了し、議長は閉会した。

上記の決議を明確にするために、代表理事及び監事は次に記名押印する。

2024年4月19日

一般社団法人日本保健物理学会

代表理事 杉浦 紳之 ⑩

監事 石川 徹夫 ⑩

監事 菅井 研自 ⑩

本議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

常務理事 橋本 周